

南越前町地域おこし協力隊 のご紹介

町が元気になることを目指し、東京から2名の若者が移住してきました!

地域おこし協力隊とは…

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」「人とのつながりを大切にして生きていきたい」「自然と共存したい」…。

今、都市に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた「地方」に注目しています。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

全国、県内の状況

平成24年度現在、43道府県において617名、うち福井県内では4市町で7名が地域おこし協力隊として活躍しています。

南越前町への募集

1月27日、東京都で開催された地域おこし協力隊合同説明会に出展し、全国から集まった大勢の地域おこし協力隊志願者を前に、南越前町の魅力や観光プロジェクトなどの活動内容をPRし、「いっぺん南越前町にきとっけの〜」と声かけしてきました。

その結果、多数の意欲ある若者から応募があり、面接などを得てこの度、次の二人を南越前町の「地域おこし協力隊」として委嘱いたしました。



自己紹介

どうぞよろしくお願ひします♪ 町で見かけたらお声かけください♪

隊員1号



川村 博俊 (26歳)
産業振興課

出身 東京都

特技 剣道

目標 都市部から南越前町への流入戦略の構築。活動によって得られた成果を町や住民に還元していきたい。

ふたりの主な活動

今庄宿プロジェクト・ふるさとプロジェクトの企画立案
定住化促進ビジョンの提案
観光施策の推進と地域の交流企画
地域の魅力をさまざまなツールで積極的に情報発信
産業、観光、歴史、文化を踏まえた地域おこし活動

お知らせ

今後、定期的に「めちぜんかわらばん」を発行し、私たちの活動を紹介していきます。

ブログやフェイスブックもはじめました。是非、検索してください。

自称「めちぜん隊」として活動しますので、皆さんの応援よろしくお願ひします。

隊員2号



荒木 幸子 (27歳)
企画財政課

出身 東京都

特技 パンづくり、床貼り

目標 南越前町を模倣的な学習材料とし、新しい働き方と暮らし方を提案していきたい。

めちぜん通信 ▶ <http://mechizen.blogspot.jp/> フェイスブック ▶ <http://www.facebook.com/mechizen.kyoryokutai>